

# 大軍拡・大増税 NO!連絡会 NEWS

第 20 号

平和、いのち、くらしを壊す戦争準備の大軍拡・大増税 NO! 連絡会  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4 階

2026 年 3 月 13 日

## 連続学習会 第 2 回

### 『スパイ防止法と改憲のゆくえ ～衆議院選挙結果を受けて』

「平和、いのち、くらしを壊す戦争準備の大軍拡・大増税 NO! 連絡会」は、「大軍拡・大増税よりもくらし・福祉・教育の充実を! 戦争の準備より平和の準備を! オンライン連続学習会」と題し、全 3 回の学習会を企画。第 2 回を 3 月 11 日 (水) 18 時より開催し、164 か所以上で視聴されました。

新日本婦人の会の平野恵美子さんは開会あいさつで、東日本大震災と福島第一原発事故から 15 年となった日に学習会が行われる意義を強調しました。震災と原発事故の経験から、政治は最悪を想定して命と暮らしを守る責任があると訴え、日本に原発はあってはならないと述べました。また自民党政治への怒りによって一度は与党を少数に追い込んだものの、突然の解散総選挙により自民党が再び多数を占めたと批判しました。さらに軍拡、増税、夫婦別姓制度への反対姿勢など高市政権の政策を問題視し、米国の軍事行動への追随にも懸念を示しました。

講演

### 「スパイ防止法と改憲のゆくえ

### ～衆議院選挙結果を受けて」

室蘭工業大学教授 清末愛砂 氏

#### 国家による情報管理と監視の仕組みが段階的に強化されてきた

講演で室蘭工業大学の清末愛砂教授は、スパイ防止法の問題を歴史的な経緯から説明しました。戦前には軍機保護法があり、軍事機密を理由に多くの人が処罰されたこと、北海道帝国大学の学生が外国人教師と交流しただけで重い刑罰を受けた宮沢・レーン事件などを紹介しました。戦後はこの法律が廃止されたものの、1950 年代には日米安保条約に関連して軍事機密を保護する法律が作られ、1985 年には統一協会系の勝共連合の後押しでスパイ防止法案が国会に提出されたと説明しました。当時はメディアや市民の強い反対運動があり廃案になったものの、政府はその後も法整備をあきらめなかったと述べました。

その流れの中で、2013 年の特定秘密保護法や 2024 年の経済安全保障関連法などが成立し、国家



による情報管理と監視の仕組みが段階的に強化されてきたと指摘しました。こうした法律によって、国家が指定した秘密を守るために個人の情報を調査する仕組みがすでに作られていると説明しました。したがって、日本はこれから監視国家になるのではなく、すでに監視国家としての仕組みが作られていると強調しました。

## 国家による監視だけでなく、市民同士が互いを疑い監視する社会が広がる危険

さらに、高市政権と日本維新の会の合意書の内容を取り上げ、国家情報局の創設や対外情報庁の設置など、日本版 CIA のような組織をつくる構想が進められていると指摘しました。公安警察や自衛隊の情報部門、公安調査庁などの情報を一元化し、効率的に収集・分析する体制が構築されようとしていると述べ、情報要員を養成する機関を設け、インテリジェンス要員を組織的に育成する計画もあると説明しました。

加えて、外国代理人登録法やロビー活動公開法などの関連法が検討されており、海外の団体や研究者と関係を持つ市民団体や研究者が監視対象になる可能性があるとの指摘しました。こうした制度が導入されれば、国家による監視だけでなく、市民同士が互いを疑い監視する社会が広がる危険があると警告しました。外国人や外国と関係を持つ人々への疑いが強まり、排外主義がさらに広がる可能性もあると述べました。

## スパイ防止法と改憲の動きは軍拡と監視体制の強化を一体で進める

最後に、こうした動きは憲法改憲、とりわけ 9 条改憲の議論とも結びついていると指摘しました。日本維新の会は 9 条 2 項を削除し、集団的自衛権を全面的に認める方向を示しており、これは専守防衛から積極防衛へと大きく政策を転換するものだとの説明しました。また、自衛隊を憲法に明記すれば軍事組織が特別な地位を持つことになり、防衛費の拡大や軍事国家化につながる危険があると述べました。スパイ防止法と改憲の動きは軍拡と監視体制の強化を一体で進めるものであり、日本社会の民主主義や基本的人権に深刻な影響を与える可能性があるとの結論づけました。そのため、市民が声を上げ続けることが重要であり、社会全体でこの問題を議論していく必要があると訴えました。

## 戦争だけは嫌だという一人ひとりの思いを受け止め、対話を広げよう

全日本民医連の木下興さんは閉会あいさつで、全国 160 か所以上の視聴参加に感謝を述べ、国際的にはベネズエラ攻撃やアメリカとイスラエルによるイラン攻撃が続き、国際秩序の崩れへの不安が広がっていると指摘しました。国内では憲法審査会の構成変更やミサイル配備が進み、スパイ防止法も含め「戦争する国づくり」の動きが強まっていると述べました。一方で国会前行動には 8000 人が集まり、初めて参加する人も多く平和を求める声が広がっていると紹介しました。そして一方的な主張ではなく対話を重ねることが重要だと強調しました。

本学習会は YouTube にて視聴できます。

<https://youtu.be/sSQYNewSBZM>



連続学習会 今後の予定



4月9日(木)

18:00~19:30

講演60分・質疑10分

<https://x.gd/MYNTY>

ミーティング ID: 837 7273 5150

パスコード 123456



第3回

石川康宏さん

(神戸女学院大学名誉教授)

「政治の流れと

平和への課題」

**完全オンラインです※申し込み不要**

資料は各回2日前を目途に準備します。

こちらからダウンロードしてください。

<https://x.gd/cg5vJ>

